二〇二一年七月二四日

山湖へと胸突八丁道をしへ　わかば

黒帯を目指す険磴子らの汗　かかし

青首の辛味よろしき夏大根　素　秀

カーテンを膨らます風夕立来る　こすもす

白々とはためくシーツ梅雨あがる　む　べ

いつまでも暮れぬ夕空遠蛙　よし子

日雷弾きしカーブミラーかな　よう子

ややの頬つつけば笑顔青葉風　はく子

毎週句会秀句・みのる選・二〇二一年七月二五日